

# 公開実用平成 4-52490

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報(U) 平4-52490

⑫Int.Cl.<sup>5</sup>

A 23 F 3/40  
A 47 J 31/06

識別記号

府内整理番号

⑬公開 平成4年(1992)5月1日

A 6844-4B  
A 6844-4B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全頁)

⑭考案の名称 フラワーティーパック

⑮実 領 平2-95155

⑯出 領 平2(1990)9月11日

⑰考案者 真弓 純子 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 大隅 和寿 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 伊藤 三明 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 松永 康明 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 早田 吉郎 愛知県稻沢市奥田大沢町5-1 日本メナード化粧品株式  
会社稻沢工場内

⑯出願人 有限会社野々川商事 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目5番24号



## 明細書

### 1. 考案の名称

フラワーティーバッグ

### 2. 実用新案登録請求の範囲

ティーバッグ内に乾燥した花と粉末茶を収納したことを特徴とするティーバッグ。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本考案は、花の美しさ及び／または天然の香りを楽しめるティーバッグに関するものである。

#### 〔従来の技術〕

ティーバッグは、使用方法の簡便さから、紅茶やウーロン茶をはじめ数多くのお茶に応用されている。一方、花もその有効成分を利用して、例えば菊科植物の花や紅花がお茶として用いられている。ラベンダー、ローズなどのハーブも、乾燥した花に湯を注いで香りを楽しむお茶として飲まれており、また、湯に溶かしただけで飲める粉末状のお茶も売られている。

-1-  
1127

実開4- 52190

# 公開実用平成 4-52490



## [考案が解決しようとする問題点]

前述したラベンダー、ローズなどの従来のハーブティーは、花の香りを楽しむことはできるが、花の美しさを視覚的に楽しむことはできなかった。また、従来の花のお茶には、天然の香りを楽しめるものではなく、味の点でも問題があった。一方、粉末状のお茶は、通常のお茶としては楽しめるが、視覚的な、あるいは臭覚的な点で不十分であった。

## [問題を解決するための手段]

本考案は、ティーバッグ内に、乾燥した花と粉末茶を収納したことを特徴とするティーバッグである。本考案で用いる花としては、桜、菊、ラベンダー、カモミール、ハマナス、ローズ、春蘭、ニオイスマレードリーム、ハイビスカス、キンモクセイなどが挙げられるが、好ましくは、香りを有し、かつ美しい花が適している。これらの花は、咲いた状態、あるいはつぼみの状態などで採取し、そのまま乾燥して用いることができる。

これらの花を乾燥する方法としては、風乾、凍結乾燥、シリカゲルによる乾燥、熱による乾燥な

どが挙げられるが、好ましくは、熱をかけない乾燥が適している。

本考案でいう粉末茶は、市販のものを用いることができる。本考案でいう粉末茶としては、緑茶、紅茶、ウーロン茶などの熱水抽出物を乾燥し粉末状にしたもの、顆粒状にしたもの、あるいは錠剤状にしたものなどが挙げられるが、好ましくは、お湯にすぐ溶け、お茶の風味を残した粉末茶が適している。また、その粉末茶の粒径は特に限定されないが、好ましくは、ティーバッグの隙間からこぼれ出ない程度がよい。このようにして得られた乾燥花と粉末茶を、適量ずつティーバッグ内に封入する。本考案でいうティーバッグは市販のものなどを用いることができ、大きさ、形など特に限定されないが、好ましくは透明な素材でできた物が適している。

以下に実施例を示し、本考案を更に詳しく説明するが、本考案は、これによって限定されるものではない。

#### 【実施例 1】

# 公開実用平成 4-52490



ラベンダーは紫色の花穂を、ハマナスはつぼみと花びらを、カモミールは全開の白い花を用いた。これらをシリカゲルを敷いたデシケーターを用いて、室温で一週間乾燥し、材料とした。

ティーバッグ1包には、1回の飲用に適量(0.3g)の粉末茶(顆粒状紅茶)と、ラベンダーの場合は花穂2つ、ハマナスはつぼみ1つ、あるいは花びら2枚、カモミールの場合には花2つを封入した。

## [実施例2]

ラベンダーは紫色の花穂を、ハマナスはつぼみと花びらを、カモミールは全開の白い花を用いた。これらをシリカゲルを敷いたデシケーターを用いて、室温で一週間乾燥し、材料とした。

ティーバッグ1包には、1回の飲用に適量(0.3g)の粉末茶(顆粒状ウーロン茶)と、ラベンダーの場合には花穂2つ、ハマナスはつぼみ1つ、あるいは花びら2枚、カモミールの場合には花2つを封入した。

## [実施例3]



ローズは花びらを、ニオイスミレは全開の花を用いた。これらをシリカゲルを敷いたデシケーターを用いて、室温で一週間乾燥し、材料とした。

ティーバッグ1包には、1回の飲用に適量(0.3g)の粉末茶(顆粒状紅茶)と、ローズの場合は花びら5枚、ニオイスミレは花3つを封入した。

#### [実施例4]

ローズは花びらを、ニオイスミレは全開の花を用いた。これらを凍結乾燥し、材料とした。

ティーバッグ1包には、1回の飲用に適量(0.3g)の粉末茶(顆粒状ウーロン茶)と、ローズの場合は花びら5枚、ニオイスミレは花3つを封入した。

#### [考案の効果]

自然の姿のままで乾燥させた花と粉末茶をティーバッグに封入することにより、花の美しさ及び／または天然の香りをお茶として手軽においしく楽しむことができる。即ち、本考案のティーバッグをお湯に入れると粉末茶が溶け出し、一緒に封入した花が、ティーバッグを通して透けて見える

# 公開実用平成4-52490



ようになり、香りも湯気と共に広がる。更に、花の成分には下に示すような薬効がある。

例) ラベンダーの花: 鎮静、殺菌、鎮咳

ハマナスの花: 疲労回復、低血圧あるいは不眠症の緩和

カモミールの花: 強壯、消炎、かぜによる症状の緩和

実施例1及び2のティーバッグをお湯に入れたらところ、粉末茶が溶け出した後に、ティーバッグを通して、ラベンダー、ハマナスそしてカモミールの美しい花をそれぞれ見ることができ、かつ、それらの花の天然に近い香りを楽しみながら、美味しいお茶を飲用することができた。

また、実施例3及び4のティーバッグも同様にして飲用したところ、ローズ及びニオイスマレの美しい花をそれぞれ見ることができ、かつ、それらの花の天然に近い香りを楽しみながら、美味しいお茶を飲むことができた。

4.

## 図面の簡単な説明

図一1は、本考案のティーバッグの実施例の斜



視図である。

図一2は、そのA-A線に沿う縦断面図である。

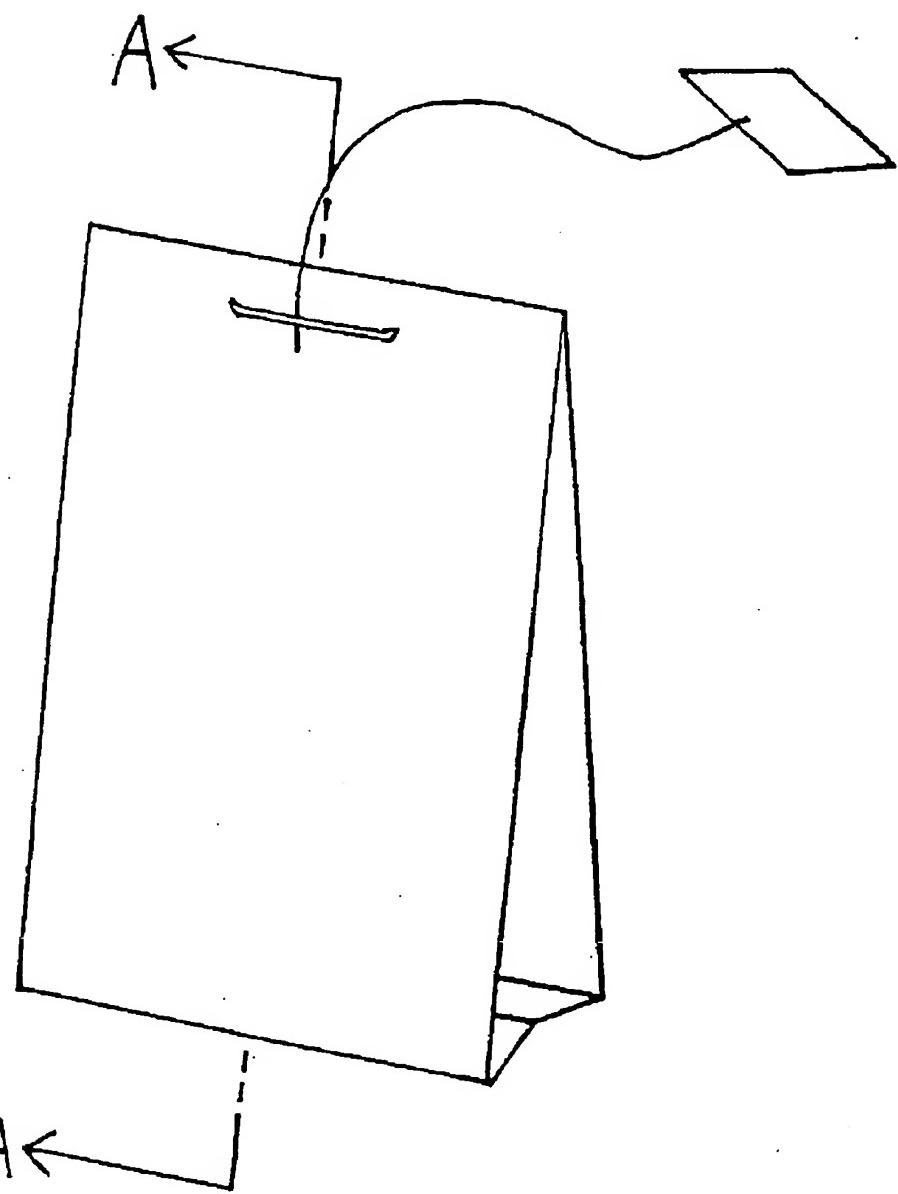
1: ティーバッグ 2: 粉末茶 3: 乾燥した花 4: 把持片

实用新案出願人 野々川商事

公開実用平成 4-52490



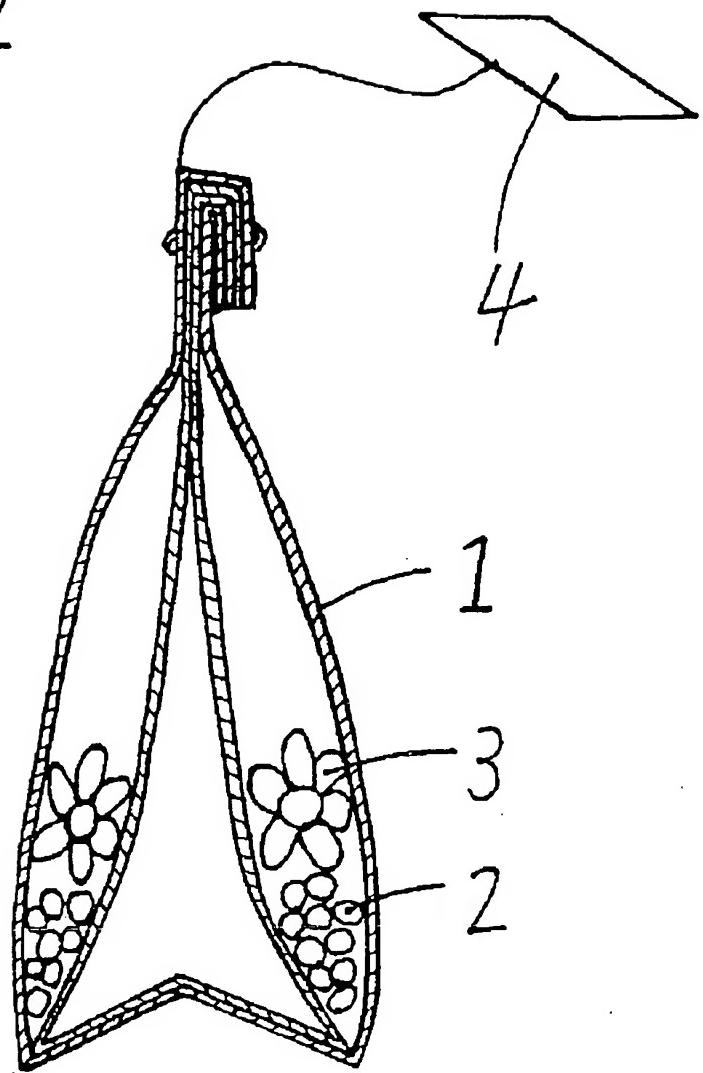
図-1



1134

実開4- 52490

図-2



実用新案出願人

野々川商事

1135

実開4-52190

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報(U)

平4-52490

⑫Int.Cl.<sup>5</sup>

A 23 F 3/40  
A 47 J 31/06

識別記号 庁内整理番号

A 6844-4B  
A 6844-4B

⑬公開 平成4年(1992)5月1日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭考案の名称 フラワーティーバッグ

⑮実願 平2-95155

⑯出願 平2(1990)9月11日

⑰考案者 真弓 純子 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 大隅 和寿 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 伊藤 三明 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 松永 康明 岐阜県大垣市浅草4-66 日本メナード化粧品株式会社生  
化学研究所内

⑰考案者 早田 吉郎 愛知県稻沢市奥田大沢町5-1 日本メナード化粧品株式  
会社稻沢工場内

⑰出願人 有限会社野々川商事 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目5番24号

⑲実用新案登録請求の範囲

ティーバッグ内に乾燥した花と粉末茶を収納し  
たことを特徴とするティーバッグ。  
図面の簡単な説明。

図一1は、本考案のティーバッグの実施例の斜

視図である。図一2は、そのA-A線に沿う縦断  
断面図である。

1……ティーバッグ、2……粉末茶、3……乾  
燥した花、4……把持片。

